

1. 研究主題

安全への意識と危機管理意識を高めるための対策と指導の充実

2. 主題設定の理由

(1) 本校の教育目標の観点から

本校の教育目標は、「『豊かな人間性を持ち、たくましく生きる児童』の育成ーかしこく やさしく たくましくーみんななかま」である。これを受け、具体的に目指す児童像を次のように設定している。

- ・よく聞き、よく考え、自分の言葉で発信する子
- ・思いやり、助け合い、友達と高め合う子
- ・粘り強く前向きに取り組む子
- ・挨拶・返事がしっかりできる子

そこで、安全教育では、進んで学び、対話を通して、自らの考えを深めていく児童の育成を目指す。

(2) 本校の実態から

本校は、年に2回の全校避難訓練と毎月のワンポイント避難訓練を行い、災害に対する危機管理を強めてきた。しかし、毎年、避難訓練の慢性化を感じていた。ある月の休み時間のワンポイント避難訓練の際、避難訓練が終わると、学級での振り返りをすることもなく外へ遊びに飛び出る児童が大勢見られた。近頃の千葉県周辺での地震の多発をはじめ、いつ災害が襲ってきてでも対応できる学校にしていくため、教員を含め、学校全体の自然災害に対する意識の向上が必要不可欠である。

3. 研究仮説

- 避難訓練を工夫することで、学校全体の安全への意識が高まるであろう。
- 避難訓練の事前指導や事後指導を工夫することで慢性化を防ぐことができるであろう。

4. 研究内容

①全教員一人一冊「危機管理マニュアル」作成

4月の初めに全教員に一人一冊「危機管理マニュアル」を手渡し、本校での災害への対応の仕方を誰もが理解できるよう、また、いつ災害が起きても統一した対応ができるようにミーティングを行う。避難訓練の度、危機管理マニュアルを確認する。

②ワークシートを用いた避難訓練

校内全体避難訓練の始まりに、ワークシート（図1）による事前学習を行う。大地震前後に教室がどのように変化するのがわかるイラストや写真を用いて、地震の恐ろしさを実感させる。自分たちが避難時に気を付けなければならないポイントを考え、話し合う。その後、避難訓練を行う。避難訓練後にアンケートをとり、意識がどのくらい変わったかを確認する。

③避難訓練後の振り返り

避難の様子は、混雑が多かった場所を動画で撮影し（図2）、避難訓練後に振り返りを行う。その後、廊下に「安全マップコーナー」（図3）を作り、児童は避難時に危険だと感じた箇所にシールを貼る。完成した安全マップを各学級で確認し、対応策を考え、話し合う。

